

パートナーシップ通信 9年次- 11号



～ひがしの窓から～

平成 28 年 12 月 19 日

地域教育コーディネーター

高橋 直子

連絡先: 080-2094-9712

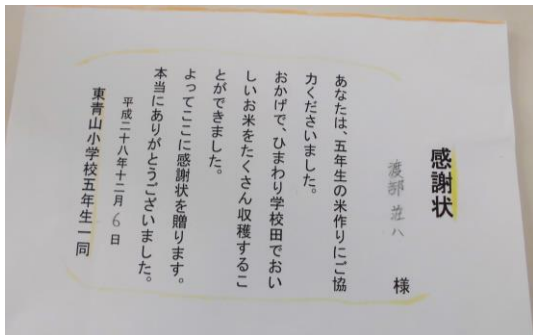
E-メール: higashiaoyama.es.
partner@docomo.ne.jp

早朝に鳴り響く雷・・・これを聞くと「これから本格的に寒くなるぞ・・・いよいよ雪が降るぞ・・・」の合図のように感じられます。傘、長靴、手袋など・・・冬の準備はバッチリできていますか？ 冬の寒さは苦手ですが、植物を見ていると、寒さの後に新しい芽が出てきます。冬の寒さも必要なものなのかもしれない。そう思って寒さとも付き合っていきましょう。



5年生 稲作 収穫祭(12/2・5・6)

今年の5月、より良い田んぼにするために、大がかりな田起こしから始まった5年生の米づくり。作業は田植えと稲刈りだけではありません。雑草や浮き草が勢いよく生えてきました。鳥も空から狙っていました。たくさんの工程を経て、たくさんの方々に見守られて、この収穫祭を迎えました。



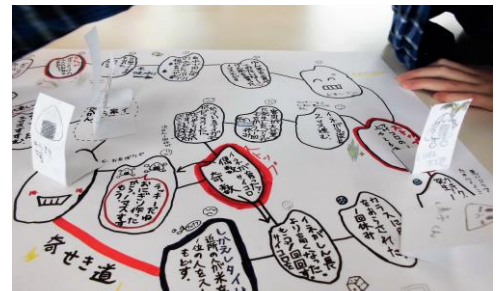
感謝状が手渡されました



美味しいおにぎりと、大根のみそ汁をいただきました。
さまざまな企画でこの1年を振り返りました。



米づくりを指導いただいた渡部さん、「お味はいかがですか？」



5年1組 稲作すごろく
“うきくさ 大発生 2マスもどる”
“カラスに荒らされた 1回やすみ” など
作業してきたからこそ、作れたすごろくです。
お米の形もちちゃんと観察して書いています。

ひがしの学び活動報告

12月6日 ナチュラルクリーニング ～環境にもワタシにも優しいお掃除のコツ～

大切なポイントは「よごれの適性を見極めて、洗剤を使いこなす」ことでした。
この汚れは酸性？ それともアルカリ性？ まず汚れの種類を知りましょう。



5年生 邦楽鑑賞教室(12/12・16)

和楽器の演奏を聞かせていただきました。また実際に楽器に触れて体験しました。



(演奏曲目)

春の海 越後獅子 六段の調

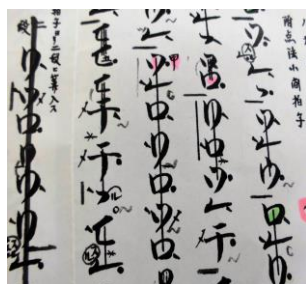
『箏は何の木で作られているか知っていますか?』古木さんの質問から始まりました。箏の材料となるのは桐の木。女の子が生まれると、庭に桐の木を植え、お嫁入りの時には、その木を使って箏を作って、持たせたのだそうです。

実際の演奏をきくのは、初めての子が多く、迫力の演奏に驚き、先生方の手元をじっと見っていました。

お迎えした先生方

(箏) 奥寺淳子さん 渡辺 瞳 さん

(尺八) 古木禮雲 さん



なかなか、むずかしいなあ…。でもほんの少し音が出せました。尺八の楽譜(右)も初めて見ました。

箏は13本の玄で39の音を出すことができます。漢数字で書かれた楽譜を見ながら『さくら』を弾いてみました。



三絃(三味線)は、3オクターブの音を出すことができます。越後獅子は、歌詞を歌いながらの演奏です。

3人の先生の演奏は、息がぴったり合っています。指揮者もないのに、なぜでしょう。

心で話し合いをしながら演奏を合わせているから だそうです。



貴重な体験をさせていただきました。
ありがとうございました。